修学旅行新聞
発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8−7（順ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

春夏で32コース
全修協の研修旅行

一万名獲得へ
特別委、地区会議で本決り

（財）全修協の本年度地区会議は十一月下旬から十二月にかけて開催されたが、それに先立つ研修旅行特別委員会では、来年の企画について検討を重ねた結果、春季十二コース、夏季十六コースと海外三コース、第一次友好訪華団の計画を決めた。また、各地区会議における修学旅行関係の提案では教職員と教委職員の論文と児童生徒の作文をひろく募集すること、研修旅行コースについて検討、募集人員を一万名と決定した。全修協運動の二本柱である修学旅行の改善向上、研修旅行の完全実施は創立二十周年を明年にひかえ、ますます活発な躍進をとげるものと注目される。

全修協の地区会議は十一月六日　東京都）北陸・東海（十一月十二日、熊本県）各地で支部長や協力機関の代表者が出席して開催。
の近畿につづいて東北（十一月二日、石川県）中・四国（十一月十日、宮城県）関東（十二月九日　日、広島県）九州（十二月十三　全修協山本理事長は「修学旅行

第9回 三地区修旅連絡協開く

【関東支局】第九回関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡協議会（海保四郎会長）は十一月十四、十五日、秋色深い群馬県水上町で開催した。テーマは「楽しく豊かな集団行動を行う望ましい修学旅行のありかたを求めて」。修学旅行の指導と運営上、諸問題の解明と改善および教育性、安全性、経済性の立場から問題解決に地域間の協力態勢を築くために今後も三地区連絡協が努力をかさねることを申し合わせ大きな成果をあげた。

論文と生徒作文募集
本年度も実態調査実施

協議会は十四日午後三時から水上館で開催、海保四郎会長は「第九回の協議会開催にあたり遠方から多数ご参加いただき感謝にたえない。議題については慎重にご協議され、児童生徒にとって遺足や修学旅行が楽しい学校行事となるように願っている」と挨拶。また顧問の全修協理事長山本種一氏も別項の通り挨拶をのべた。

来賓の群馬県中学校長会長・金井正作氏は「三地区は太平洋岸をベルトでつなぐが、この協議会も関連した課題を抱えることもあろう。群馬県では修学旅行に対して安易な考えかたに終始している学校があり、修学旅行が必要かどうかという論議さえ出ない。この点を各県に学ばなければならぬと思っている。県内では梅沢、谷、星野の三校長がご苦労されており、あらためて感謝したい。私にとっても勉強になるので、この協議会が大きな成果をおさめられるよう望んでいる」と述べた。

協議に入り①会務報告として三地区連絡協をはじめ各地区修社委の活動状況について各事務局長から述べられた。②北牧一雄氏（大阪府）が枚方市長に就任されたため欠員となった副会長には興禁磯次氏（門真市立第一中学校長）を満場一致で選出、同氏から就任の挨拶があった。

③規約の一部改正を行ったあと④前年に引続き五十年度の修学旅行の実態調査を実施することを決めた。「生徒が見聞をひろめ、楽しく豊かな集団行動を行うために中学校の修学旅行における教師の指導と生徒の自主性の育成、安全性確保の関連上、学校の事前、現地、事後指導の実態を調査し、今後の望ましい修学旅行のありかたを求めようとする」のがねらい。

事前調査では修学旅行計画のたて方、準備の始期、しおりなどの編集、健康診断、服装、携帯品などの検討。現地指導では見学のしかた、生徒の管理、班別組織の活用。また、事後指導は作品の発表健康調査などである。

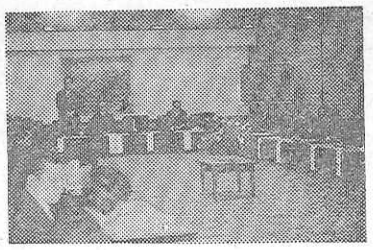
一県の中学校の一〇%を無作為抽出、十二月末に調査用紙を各修旅委経由で各学校あてに送付し、一月末に回収、集計結果は年度はじめの三地区連絡協。

全修協と共催、文部省、都道府県教育長協議会後援（いずれも交渉中）で中学校教職員、教委職員の修学旅行に関する教育論文と五十年度在籍中学生の作文を次の通り募集する。

▽教育論文　内容「わが校の修学旅行の理論と実際」（個人または学校として）題名自由。字数八千字以内。本年十二月から来年三月三十一日まで募集する。発表は来年五月三十一日。入選は一席一点、二席二点、三席三点のほか佳作二十点。

▽生徒の作文　内容は「修学旅行の記録、紀行、感想など」で題名自由。千六百字ていど。〆切、発表など教育論文と同じ。入選は一席一点、二席二点、三席五点、佳作五十点。募集要項は組織を通じ各学校あてに送付することを決定した。

なお今後の運動に完ぺきを期するため運営委を設けることになった。


三地区連絡協で挨拶する全修協の山本理事長（水上で）

もこのように真正面から修学旅行に取組むもの は皆無である。ここにあらためて謝意を表したい。この協議会は心のかよった役員同士が結束して目的達成のためにご苦労がたをはじめ、すでに退職された先生がたの蓄積された努力の賜ものであって、全国でもいっそうのご研鑽を希望したい。

結束して成果を
全修協理事長
山本種一氏の挨拶から

第九回協議会の開催にあたり、各地から多数の役員がご参加願えたことにお礼を申しあげたい。九回にもわたって開催できるのも設立いらい役員として活躍されたか

協議会の結果、伊藤守（関東）安川明男（東海）興禁磯次（近畿）府四県）を選出した。

翌十五日午前八時から第一回運営委を開いて今後の運営について協議を重ねた。同八時半から再度協議会を開いて各地区の状況について情報交換などを行って閉会、続いて水上中学校を訪問、施設などを見学した。

当日の出席者は次の通り（順不同・敬称略）

来賓＝金井正作（群馬県中学校長会長・群馬県前橋市立第三中学校長）

顧問＝山本種一（財団法人・全国修学旅行研究協会理事長）

会長＝海保四郎（関修委会長・千葉県茂原中学校長）

副会長＝安川武男（東海二県修旅委委員長・三重県津市立西橋内中学校長）

委員＝金子善壱（千葉県市川市立第八中学校長）星野一夫（群馬県沼田市立薄根中学校長）伊藤守（栃木県宇都宮市立陽西中学校長）神坂重光（茨城県古河市立第二中学校長）坂本金作（崎玉県鴻巣市立鴻巣中学校長）＝以上関東。松本辰夫（愛知県名古屋市立萩山中学校長）近藤虎之助（岐阜県海津郡海津市立海津中学校長）＝以上東海。柴崎博（兵庫県西宮市立上甲子園中学校長）国島恵端（滋賀県坂田郡米原町立米原中学校長）奥禁磯次（大阪府門真市立第一中学校長）

参与＝白滝末紀（全修協事務局長）

事務局＝嶋津佃郎（関東修旅委運営委・事務主幹・全修協総・務部長）小西悠一郎（近畿二府四県修旅委事務局長・全修協大阪事務所長）鬼頭藤松（東海三県修旅委事務局長・全修協名古屋分室長）

白滝事務局から会務の中間報告が行われたあと、提出議案をそれぞれ審議決定した。会務報告の中で修学旅行については本部の調査研究をはじめ三地区修旅連絡協や各旅委の活動経過、とくに国鉄専用列車利用の料金減収は約七億三千万円に達した。また、研修旅行関係では本年度の参加者が七千三百名をこえ、研修旅行の歴史上輝やかしい記録を達成されたと白滝事務局長は述べた。

前田中央研修部長提案の第一号議案「五十一年度研修旅行の実施計画」では①経済性②教育性などを基本方針とし、冬季は沖縄海洋博、春季は一般・特別研修各六コースで計十二コース、また夏季は一般十四、特別研修二、日教組と共同主催による海外三コース、さらに第二次日本教職員による友好訪華団の派遣など実施する予定で募集計画数は三季合わせて一万二十名であると説明。質疑応答のあと満場一致でこれを決定した。

第二号議案「修学旅行に関する事項」では白滝事務局が提案趣旨を次のように述べた。「全修協創立二十周年記念事業の一環として教職員による修学旅行の教育論文と生徒の作文をひろく募集する。また本年度修学旅行の実施基準調査を都道府県、政令都市に行うほか、研究資料供給刀校の決定報告を願うことになった」と要請、これを承認可決した。これらの会議で決定された修学旅行と研修旅行を二本柱とする全修協運動はさらに前進をつづけ、とくに研修旅行は協力機関の支援によって目標数の一万名突破が可能になったものと期待される。

来年の研修旅行
夏は20コースで

【春のコース】四面に掲載。
【夏のコース】▼北海道一周（A）▼同（B）▼知床・納沙布▼利尻・礼文▼松前積丹と恐山▼東北一周▼陸中海岸と全琴山▼佐渡・磐梯・蔵王▼木曽・飛騨路とアルペンルート▼信州高原と富士スバルライン▼能登半島と越前▼山陰路▼四国路と小豆島▼九州一周▼特別研修＝①屋瀬の探勝②大台が原と大杉谷の探勝▼海外コース＝①WCOTPとアメリカ②モスクワとヨーロッパ▼第二次日本教職員友好訪華団。

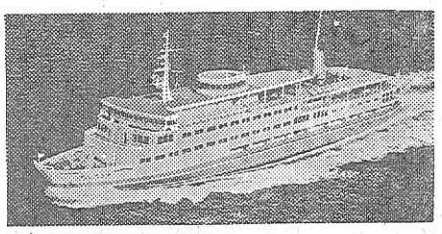
地区、都道府県によって実施しないコースもあります。

風紋

このごろ本屋の書棚をのぞいてみると、古代史をテーマとした新刊書がたくさん並んでいる。よく売れるそうだ。その中でも耶馬台国関係の本には、空前のブームがおこっているという▼さきごろ野生号という舟を仕立てて、耶馬台国への海路を漕いだ人達の計画もこのブームの波にうまく乗ったものだ▼戦前の天皇制の鉄の扉の中で、自由な歴史の研究が阻まれ、大学の象牙の塔の中でひそやかに学問としての命脈を保った暗い時代にくらべて、何という相違であろう▼気安く推理小説を読むように、学術的なことをこなしている本もある。この窓口から古代史の世界への扉をひらき、「旅」に出ても、そういう基礎の上からものを見、かつ考えるようになることは、まったく結構なことだ▼耶馬台国99の謎という本がでている。樋口清之、和歌森太郎、上田正昭氏など十二名のトップレベルの学者が99の「謎」を設定して、これを解説している。耶馬台国研究の入門書としても、まとめの本としてもよい本だ。この本の編者松本清張氏は推理小説作家のするどい感覚でもって、古代史の分野でのユニークな活動を展開しているのは、衆目の認めるところである▼ところで同氏はこの本のあとがきで「……そのきっかけはなんといっても藤間正大の「埋れた金印」（旧版＝昭和二十五年）であろう。この本の前半は耶馬台国の研究史につぶされている。わたしはこの本をよんだときの興奮を忘れることができない」といっている▼この松本発言をよんで、風紋子は、「埋れた金印」の旧版と新版（昭和四十五年版）とを比較しながら二十年間の学問と研究の進歩を改めてよむことにした▼新版の「伊都国の繁栄」などを読むと最近発掘された伊都国王墓の謎？のことも、何かわかるようだ▼史書が汗牛充棟のこの頃だからこそ基本書と取組んで生徒たちの質問にこたえる用意をしたいものと思う。

充実した修学旅行

ツーリストをお役立てください
ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として“修学旅行映画”シリーズを製作しております。
◉修学旅行映画シリーズ
京都の庭園　富士箱根　日光　大和の国なか
大和の塔　火とみどりの国　瀬戸内海
みちのく　大和の道　大和の石　京都の川
（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25〜40分です）
電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口　「登録第20号」
近畿日本ツーリスト

KANSAI LINE
思い出の修学旅行
印象的な、瀬戸内海の船旅

◉阪神—別府航路（毎日4便）
◉阪神—小豆島・高松航路（毎日4便）ほか
◉神戸—日向（宮崎）フェリー（隔日1便）
関西汽船
■お問合せは
大阪市港区弁天6(06)574−9161/東京都中央区八重洲1-9-9(03)281−2621
ほか関西汽船・関汽交通社各地営業所あっ旋案内所へ

友好訪華団の記録

全修協主催

八月十五日から半か月にわたって行われた中国人民共和国の招きによる財団法人・全国修学旅行研究協会の日本教職員訪華団（団長＝全修協理事長・山本種一氏）は両国の友好親善に貢献したばかりでなく、各地の教育現場での授業参観や教職員との座談会などを通じ教育の交流にも大きな成果をおさめた。本紙では参加の各氏から率直な感想を求めたが、いずれも躍進する中国の現実の姿を称賛の言葉でつづっている。本号はその第二回目である。

人民に奉仕する心

鬼頭藤松

☆月の夜の散歩（八月二十一日）

西安滞在中の一夜、同室の伊藤先生と、つれづれなるままに夕食後の散策に出かけた。

日中の暑さは夜になっても二十度くらいである。暑さのせいで家の中にいたたまれないのか、全家族が歩道いっぱいに出て、ゴザをしいて足をのばし、竹製の寝椅子に寝そべり、椅子に腰かけてお茶を味わったりして憩いながら涼を求めあっている。

話に花を咲かせ、トランプに興じ、女性は洗濯・幼児の添い寝などしている珍しいさまざまな姿に目を奪かした。歩道の中央を当てもなく歩いた。

町はほの暗く、人びとの顔もわからない。その間を縫って歩く。ふと胡弓の音が耳に入った。二人は自然にその方向へ足が向いた。近よって伊藤先生の通訳で胡弓の曲を聞かせてほしいむねを話した。快よく聞きとどけてくれて、椅子を出したり、お茶をすすめたり、心からの接待をしてくれた。

二人の青年は二十三・四歳と二十歳前後かと思われる。回わりの人びとは時ならぬ珍客に目を見張って不思議そうな顔つきである。中国の曲を三曲ほどかなでた後、四人で煙草（チェリー）をすすめた。気持よく取って火をつけた。若い方の青年は、これを父親があるいは先輩らしい人に吸わせた。話のなかで「私はある工場の工員である。日々の仕事をよろこんでやっている、これはすべて人民のための奉仕と思っている、給料は一日一円五十銭である、こうして働いたお金でこの胡弓を百五十円で買い、こうして楽しんでいる」と話をしてくれた。その態度といい、話しぶりといい、つねにほこりしげに、よろこびに満ちている。

二人は感服をし、謝意をのべて立ち去った。月はいっそう明るく並木を照らしている。異国の土地で見る月もまたひとしおの感であった。

☆沈さんを訪ねて（八月二十七日）

上海の東部にある工場地帯の中にある労働者新村「鳳城二村」を訪れた。これは学校・工場・家庭訪問・幼稚園コースのうちの家庭訪問の一コマである。

私どもの班は鳳城二村二二四号の沈さんのお宅へ行った。沈さんの家は夫婦、子ども六人、祖母の九人家族で二八平方㍍の家である。主人は製薬工場で、息子三人はそれぞれ工場で、娘三人は農場と技術学校で、祖母は他家に行っており、現在は沈さん夫妻と息子三人の暮しである。

家計は夫婦の収入で月二二七円そのうち二〇〇円で生計をたてているが、実際は九一円でやっていき、あまったお金で果物などを買っている。残りの二七円は、つき合いや、着物をつくったり貯金している。息子からは一銭も貰わず、貯金させているとのこと。

その日は主人と息子さんがそれぞれ仕事で不在、奥さん（ママ）がひとり応待してくださった。なんの装飾もない部屋の中央に朱色の文字で奥さんの名前の下に「一九七〇・光栄退休」と横書きの表彰状が目をひいた。

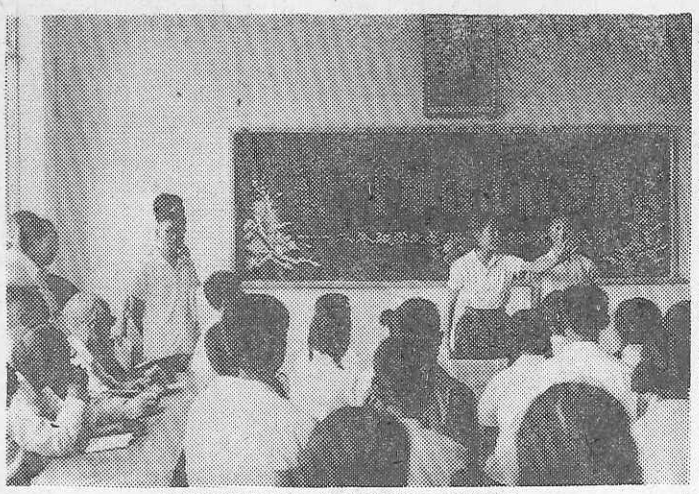
家計のこと、息子や娘の結婚の話、長い間の苦労話などがつづいた。私が「長い人生の間でいちばんの喜びと悩み」についておたずねした。

奥さんは、なんの躊躇もなく、いちばん楽しいことは現在の生活である。五年前、紡績工場を停年退職したとき、毛沢東先生から表彰状と花をいただき、ドラや鐘で家まで送ってもらった感激、退職後も働いていた当時の給料の七〇％（五七円三十銭）がいただけること、病気になれば治療は無料、死ねば葬儀は国家でやっていただけることなど、これからも何の心配もなく生活していける。また抑圧を受けていた時代を忘れることなく、新しい社会のために自分の力を大いに発揮したい。それは社会教育のためである。健康に留意して、人民のために長く奉仕したいということだった。

悩みについては文字が読めないこと。息子が毎日もち帰ってくる新聞でプロレタリア独裁の話を読んでくれる。「お母さん、馬鹿だなあ」と息子からいわれるが、字を教わってもすぐ忘れてしまう。本当に残念です。私の努力がたりないためで、毎日一字ずつ覚えて五年間やれば相当なものだったのにという。

この話に一同は感激した。このようなことが即座に話せるとは実に見上げたものだ。私たちは感謝の意をのべて次のコースへ向った。

（全修協名古屋分室長）



生徒の体験発表（西安市第83中学校で）

階級章のない社会

鈴木春之助

私は、かねてから中国の軍隊（人民解放軍）には赤い襟章だけで階級章がない、という話をきいていました。このことは、子どものころ「のらくろ一等兵」などという漫画本を愛読して育った小生には、なんとも理解できないことでした。

驚きました。金筋の権威、星の数の威力、要するに「兵隊の位」がなくて軍隊の秩序、統制が保てるものだろうかと思いました。

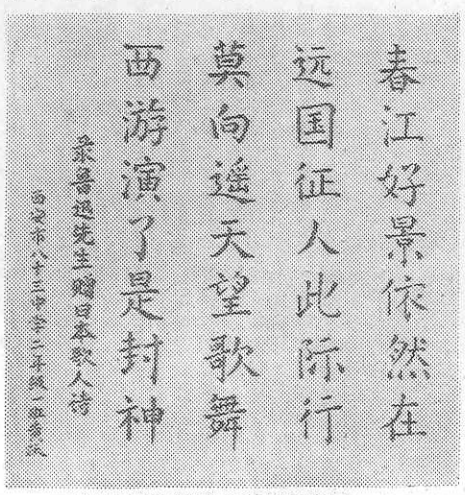
今回、全修協第一回訪華団に参加する機会を得て、新生中国の一端にふれ、若干わかりかけた気もします。

中国民航機に乗り込んだ際、先ずスチュワーデスの簡素な服装に驚きました。白いブラウスに黒いスラックス、そして三つあみを輪ゴムでとめた髪、化粧なし。とくに愛想笑いもせず「ニイハオ（こんにちは）」と迎えてくれました。空港ロビーで会う各国のスチュワーデスのきらびやかな姿に比し、一瞬戸まどいを感じさせました。ところが北京飯店でエレベーターを操作している女子、西安の紡績工場で製品を綿密に検査する女子、洛陽の東方紅トラクター工場で旋盤に取り組んでいた女子、さらに上海の道路工事に男子といっしょに大きなスコップで熱いアスファルトを扱っていた女子などが、その姿にほとんど変わりないことでした。

すべてがその持てる力に応じ、国や人民に対し奉仕する「服務員」であることの自覚と誇りが、裏付けとなっているのだと思います。

軍隊についていえば、もちろん小隊長、連隊長、師団、という役割はあります。服装の上での区別のあるのは一般兵士で、四つポケットのあるのは幹部兵士であるということでした。その気になって道ゆく兵士をみると、二つポケットはいかにも初々しい顔立ちをしているし、四つポケットは同じ若者にしても年季の入った顔立ちに見えました。上海では海軍のセーラー姿にも会いました。これは国連加入後、国際的交流が多くなってきたため、最近セーラー姿にしたとの話でした。同伴の通訳氏に艦長の服装を聞いたら、やはりセーラー姿に赤い襟章だけではないかといっていましたが、セーラー姿の艦長などは、どう考えても様（さま）にならず、これはやはり解放軍の四つポケット・スタイルだと思います。

私は帰国の朝、黄浦江の対岸から昇る太陽を眺めました。またバンドの通りいっぱいに太極拳をする老人、体操、剣技、ランニングに汗を流す少年から壮年の人々を見ながら「天は人の上に人をつくらず」「職業に貴賤なし」などの言葉を思い、五千年来の旧社会構造から脱皮しつつある新生中国の明日と、隣に位置する日本の明日をとりとめもなく考えてみました。（社団法人・東京都教職員互助会参事）



西安市第83中学２年生の作品。

飛鳥と柳生　宿泊料改訂

【奈良】飛鳥と柳生の民宿では十二月一日から次の通り宿泊料を改訂する。

▽飛鳥＝千二百円（一泊）▽柳生＝千円（同）

申込み先は飛鳥＝奈良県明日香村岡・明日香村観光会館（電話〇七四四五四―三―四〇）柳生＝奈良市柳生町・柳生観光協会（電話〇七四二九―四―〇〇〇一）

若者・紺青の海・純白の船

貸切専用純客船
ふ　じ　(3,000トン)
にほん丸　(3,000トン)

• スケジュール・コースはご自由に　• 船内でのグループ活動・学習に最適
• 旅客定員 1,800名　• 全室エアコン完備
• サロン・休憩室・医務室完備　• 一般客との混乗なし

Ⓐ大島運輸株式会社東京支店　東京都中央区日本橋通1－3－11 浅野ビル9F　TEL 03-273-8911

安心して泊れる旅館

修学旅行のメッカ本郷へ

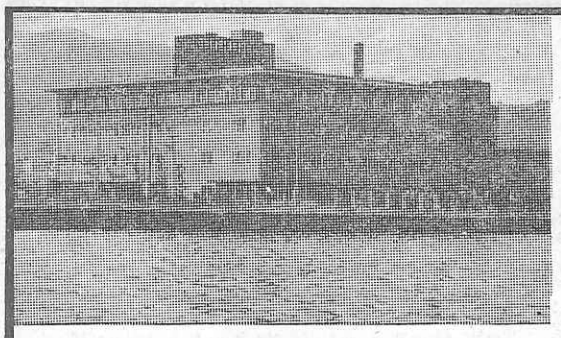
東京のお泊りは
文教の地〝本郷〟で

環境・交通は
修学旅行に最適です

近畿日本ツーリスト協定旅館連盟
東京支部本郷地区会員

武蔵野館	文京館	ふたき旅館	追分旅館	長栄旅館	春菱館
平安荘	真成館	追分旅館	長栄旅館	富士館	朝明館
朝陽館本家	富士館	長栄旅館	春菱館	朝明館	機山館
本郷館 本館 別館	朝明館	春菱館		機山館	大正園
日本学生会館	機山館			大正園	
旅館 かつら	旅館 大正園				

（順不同）



いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ

収容　６００名様
浴場　１５０名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台

政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25 電話　大津(0775)24－2321

全国各地
小中高校
全90種
旅のしおり

■御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
■北海道から九州まで，小学校から高校まで，あらゆる種別を用意。
■見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
■修学旅行の資料ならなんでもおそろえします。ご照会ください。

修学旅行図書・資料出版　〒601 京都市南区西九条鳥居口町5（京都駅新幹線口の南西）
株式会社 教材研究所　電話・代表075-681-1591，2，3，4
振替・京都2539